

石台だより

〒177-0045 練馬区石神井台8-6-33 TEL3928-7124



令和元年 7月19日 No.511

「思いやり」を感じた1学期

副校長 小山 晴美

平成から令和へ元号が途中で変わるという歴史的な1学期。10連休という体験したことのない学期途中の長いお休みもありました。4月に頑張った積み重ねが連休で崩れてしまうのでは？と危惧した面もあったのですが、いつもの年と変わらず子供たちは素敵な成長につながった1学期でした。これは、ご家庭の強力な支えがあったからこそと思います。また、新たな学年のスタートで心配事が生じた際に、子供たちのために家庭と学校が連携できた場面も多く見られました。本当にありがとうございました。

さて、もうすぐ夏休みが始まります。10連休どころではない長く家庭で過ごす時間となります。ぜひ、立てた目当てをしっかりと意識して生活して行ってほしいと思います。自分の仕事をもって続けていくこと・時間を決めて学習していくこと・水泳を中心に体をつくっていく運動をすること等、自分を自分の力で成長させていく目当てを実行していくことを大切にして生活できたらいいなあ、と思います。また、夏休みしかできない体験やゆっくりと時間がとれるからこそ家庭でもできることも取り組んでいるといいと思います。

石神井台小では、教育目標の重点を『思いやりのある子』とし今年度をスタートいたしました。運動会などの学校行事や全校集会、5・6年生の移動教室等の後には、自分の頑張りを見付けることや友達の頑張りをお認めることを行ってきました。このような活動を続けることで『思いやり』ある温かな関わりを育てていきたいと願ってきました。相手を思いやるという行動にはいろいろな面が見られます。ある低学年のクラスに代わりに入ったときにこんなことがありました。「全員が終わったらお話作りゲームをしようね。でも焦らないでね。」とテストを始めました。全員が終わったと思い、ゲームを始めようとする、「副校長先生、〇〇さんがまだ終わっていません。」と教えてくれる子がいました。だいぶ時間もたっていたので始めてしまおうかと思ったのですが、「待ってるよ。」と声をかける子がいました。すると、だれも騒がずに静かにみんな待っているのです。テストが終わっていなかった子も焦ることなく頑張り、無事ゲームができました。こんなときは、不平不満の声がもれてしまうものです。相手に対して冷たい言葉が出てしまう瞬間でもあります。このクラスの子供たちは、仲間を大切にしているのだなあ、と温かな気持ちになりました。こんなこともありました。全校集会のクイズを見ていると、一生懸命、手を挙げて答えている高学年の子たちがいました。全校集会でのクイズでは、高学年はなかなかきちんと参加してくれないので、いい姿だなあと思い写真に納めました。こんな行動も『思いやり』につながるのだと感じました。夏休みの間、日ごろ接することのない人との関わりや新たな出会い、またはつきあいの深まりなど人との出会いが多くなる時期でもあります。そんな中で相手のことを考えることで育つ様々な『思いやり』を広げて行ってほしいと思います。

2学期、一つ成長した姿で出会えることを楽しみにしています。



夏季休業中の電話は、以下の時間にオートメッセージになりますのでご了承ください。

平日 16:45～翌朝8:15

土・日 金16:45～月8:15(終日)

学校休務日 (8/13、15、16) 終日